※令和３年度以前入学生用

学校番号	408

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	政治経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	最新政治・経済　新訂版（実教出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代の政治の制度の成り立ちや国民として政治に参加することの重要性を理解する。
・経済のしくみと日本の福祉制度の諸課題を考える。
・日本の諸課題に対して、多角的な視点から問題を捉える。

２　学習の到達目標

・民主主義に関する理解を深める。
・日本の政治及び国際動向について関心を高める。
・現代経済の仕組みや機能について理解するとともに、経済に対する基本的な見方や考え方を身に付ける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	政治･経済に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに､国際社会に主体的に生き国家･社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	現代日本の諸課題を多様な視点から考察し､国際社会の変化を踏まえ公正に判断して､その過程や結果を適切に表現している。	経済分野を中心とする日本と世界の様々な資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	日本及び世界の政治・経済についての基本的な仕組みを歴史や諸課題と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	レポート(夏期休業中の課題) ワークシート 振り返りシート 行動の観察 （グループワークでの取り組み方）	定期考査 ワークシート(各単元終了時) 振り返りシート 行動の観察 （発表時の聞く態度・パフォーマンス）	定期考査 ワークシート レポート 振り返りシート	定期考査 振り返りシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	現代国家と民主主義	・民主政治の成立と基本原理 ・民主政治の仕組みと課題	○ 	 ○	 ○	○ ○	a:民主政治の成立と基本原理、及び仕組みとその課題に関わる主題を意欲的に考察し、政治への関心を高めようとしている。 b:設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:設定された主題について、世界の政治制度と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	a:グループワーク b:行動の観察 c:ワークシート d:定期考査
	日本国憲法と基本的人権	・日本国憲法の成立 ・自由、平等に生きる権利 ・新しい人権	○ ○	○ ○ 	 ○ ○	○ ○ ○	a:日本国憲法の成立の背景、大日本帝国憲法との違いについて関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:日本国憲法に見られる自由権、平等権の特質を見いだし、社会福祉などと関連付けながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:日本国憲法の特質について理解し、その知識を身に付けている。	a:行動の観察 b:行動の観察 c:ワークシート d:定期考査

※令和３年度以前入学生用

	日本の政治制度と政治参加	・政治機構と国会 ・内閣と行政機能の拡大 ・公正な裁判の保障 ・選挙制度	○ ○	 ○ ○ 	○ ○	○ ○ ○ 	a:国会の役割、国民としての政治参加などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:設定された課題の特質を見いだし、行政機能の拡大や公正な裁判の保障などに関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された課題に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:国会、内閣、裁判所のそれぞれの役割と相互関係について理解し、その知識を身に付けている。	a:行動の観察 b:発表の評価 c:ワークシート d:定期考査
2学期	現代経済のしくみ	・経済主体と市場の働き ・企業の役割 ・金融の役割 ・日本銀行の役割 ・財政の役割と租税 ・日本の財政の課題	○ ○ 	 ○ ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:日本の経済や財政に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:企業、金融、日本銀行の特質を見いだし、現代の課題と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:現在日本が置かれている経済的な課題に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:現代経済の仕組みについての基本的な事柄を現在の財政の課題と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	a:グループワーク b:発表の評価 c:ワークシート d:定期考査

※令和３年度以前入学生用

	現代の日本経済と福祉の向上	・戦後復興から高度経済成長へ ・ 安定成長からバブル経済へ ・中小企業と農業 ・消費者問題 ・労働問題と消費者の権利 ・社会保障の役割	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○	○ ○ ○ ○ 	a:戦後の経済の成長、消費者問題、労働問題、社会保障などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:中小企業と農業の課題、消費者問題について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:労働問題、社会保障などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:経済成長の過程、中小企業の現状と課題、労働問題についての基本的な事柄を、両大戦の影響と平和の意義などと関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	a:行動の観察 b:行動の観察 ・確認 c・d:定期考査
3学期	現代社会の諸課題	・産業構造の変化と中小企業 ・農業と食料問題 ・雇用と労働をめぐる問題 ・少子高齢化と社会保障	 ○ ○	○ 	○ ○ ○ ○	 ○ ○	a:雇用と労働や少子高齢化が影響する社会保障の課題に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている b：生徒たちが今後就職するにあたり、中小企業の問題点などを多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:現代社会の諸課題に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:農業と食料問題や社会保障についての基本的な事柄を、世界の政治・経済の動向と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	a・b:ワークシート c:振り返りシート d:定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。